

2019年度 修士論文発表コンテスト 兼 第206回スポーツサイエンス研究会

早稲田大学スポーツ科学学術院スポーツ科学研究センター 主催

○日時: 2020年2月12日(水) 13:00～

○会場: 早稲田大学 東伏見キャンパス 79号館 205大教室

《プログラム》

13:00 開会の挨拶

＜セッション1＞ 座長: 舟橋弘晃 先生

13:05 - 13:20 アスリートの予測行動の調整 -サッカー選手を対象とした新規手法による検討-
中村統 (広瀬研究室)

13:20 - 13:35 スポーツ事業経営体による廃校活用プロセスと効果抽出に関する研究:
関東における複数の事業経営体に着目して
粕谷純平 (原田研究室)

13:35 - 13:50 パッティング動作におけるクラブ挙動を安定化させる関節角度のばらつき
宮崎陽輔 (矢内研究室)

13:50 - 14:05 筋芽細胞におけるmiR-23-27-24クラスターマイクロRNAの欠損が
骨格筋の発生・成長・再生に及ぼす影響
加藤達也 (秋本研究室)

沖縄県における高校野球: 沖縄県代表チームを応援する意味の解明
(演題取り下げ) 松原優 (松岡研究室)

14:05 - 14:20 前腕筋群の形態と機能に顕れる弓道の競技特性
相澤岳 (川上研究室)

14:20 - 14:45 休憩

＜セッション2＞ 座長: 佐渡夏紀 先生

14:45 - 15:00 サッカーにおける選手の運動モデルを用いた統計的パス成否予測モデル
小野寺康成 (誉田研究室)

15:00 - 15:15 1893年から1897年における嘉納治五郎の教育観に関する研究:
高等官としての経歴に着目して
木浪龍太郎 (武藤研究室)

15:15 - 15:30 バランスや筋カトレーニングが片脚ドロップジャンプ中の下肢キネティクス,
キネマティクスに与える影響
鈴木聡一郎 (岡田研究室)

15:30 - 15:45 大学生における運動習慣と運動様式が膝関節軟骨厚に及ぼす影響
堀明日香 (鳥居研究室)

- 15:45 - 16:00 アスリートの社会貢献活動に関する新聞報道の内容分析:活動の類型化
 小木曾湧 (間野研究室)
- 16:00 - 16:15 相撲の基礎動作におけるバイオメカニクス的研究—鉄砲に着目して—
 赤岩滉太 (射手矢研究室)
- 16:15 - 16:30 短時間高強度持久性運動が尿中の臓器障害マーカー、骨代謝マーカー
 および 炎症関連因子に及ぼす影響
 富永貴輝 (鈴木研究室)

16:30 - 16:40 休憩

<セッション3> 座長: 川上諒子 先生

- 16:40 - 16:55 中華人民共和国における空手道の受容と展開過程に関する研究
 —1922年から2018年に着目して
 謝勁文 (志々田研究室)
- 16:55 - 17:10 全身の筋における収縮時の反応時間
 田口徹 (彼末研究室)
- 17:10 - 17:25 運動前のミネラルを含む抗酸化サプリメント摂取が酸化ストレスマーカー
 およびエネルギー代謝マーカーに及ぼす影響
 名村紗希 (宮下研究室)
- 17:25 - 17:40 唾液中における多反応性分泌型免疫グロブリンAの測定方法の検討
 孫子曰 (赤間研究室)
- 17:40 - 17:55 車いすバスケットボールを題材とした障害者スポーツ体験プログラムの
 アウトカム評価
 岡田美優 (作野研究室)
- 17:55 - 18:10 体幹筋エクササイズ介入が打撃動作時の腰部挙動に与える影響
 高木紀史 (金岡研究室)
- 18:10 閉会の挨拶
- 18:30 - 表彰式 & 懇親会 (79号館204会議室)



早稲田大学 スポーツ科学学術院
 Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・中川剣人・工藤龍太
 早稲田大学スポーツ科学学術院
 E-mail: k-nakagawa@aoni.waseda.jp